

県外派遣報告書

審判員名	加藤 美昂	所属	U-12
大会名	関東高等学校女子バスケットボール大会		
期間	令和5年6月10日(土)		
会場	緑ヶ丘スポーツ公園体育館		

スケジュール

期 日	内 容	場 所
令和5年6月9日(金)	審判会議	オンライン(zoomにて)
令和5年6月10日(土)	大会初日(A級1次審査)	緑ヶ丘スポーツ公園体育館

実技

期 日	令和5年6月10日(土)	男子	女子	対戦カード	相手審判
担当試合	下妻第一	VS	星槎国際湘南	CC	U1 U2
相手審判	U1 小林氏(群馬県)・U2 大森氏(山梨県)				

ミーティング内容

終始熱いゲームでEOGまでゲーム管理する内容だった。クルーとは協力しながらもCCとしてフォローしなければいけない部分も多々あった。その中でプライマリーを意識しながらもセカンダリーで鳴らす場面もありCCの難しさを感じた。判定の部分では、互いに接触を求める両チームでそこに対する基準を示すことができなかったのが反省である。女子特有の体の寄せやシリンダーを上手に妨げるプレーがあり、選手・ベンチにメッセージとして伝えることができなかった。ベンチとはコミュニケーションを大事にし、気になるプレーやリアクションがあった際など会話をしながら対応した。数回トラブルが発生したが、クロックの訂正や交代などTO・ベンチと確認をしゲームを終えることができた。この経験を自分の大きな収穫として今後も大事にしCCMを培っていきたい。

全体の感想

CCとして3人で協力してゲームを進めることの難しさを痛感した。また、トラブルに対して対応できたものもあるが、会場全体に今何が起きているのか、どのように再開するのかなど、伝え方を工夫していく必要がある。今大会では有観客やチームの声援があり、関東大会の雰囲気を感じることができた。県外派遣では初めて観客がいる中で大きな大会でしたが、貴重な大会の雰囲気を感じることができたと同時に、県の代表として推薦させて頂いたことに深く感謝致します。一緒に審査を受ける他県の仲間や他県の上級の方々のレフリーを近くで見ることができ、とても刺激的な大会となりました。今回の派遣にあたり、大変お世話になった山梨県バスケットボール協会の皆様、また今大会へ派遣してくださいました眞榮喜審判長はじめとする埼玉県協会の皆様と、日頃活動でご指導して下さる皆様に心より感謝申し上げます。引き続き、ご指導宜しくお願い致します。

県外派遣報告書

審判員名	増子 友紀	所属	U18
大会名	関東高等学校女子バスケットボール大会		
期 間	6月10日		
会 場	緑ヶ丘スポーツ公園体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
6月10日	A級1次審査	緑ヶ丘スポーツ公園体育館	
実技			
担当試合	期 日	2022/6/10	男子 <u>女子</u>
	対戦カード	県立幕張総合高校 VS 都立駒場高校	CC <u>U1</u> U2
	相手審判	CC: 小野寺美帆さん U2: 萩原彩水さん	
ミーティング内容		主任 手塚清孝さん	
<p>プレゲームカンファレンスでは、ポジションアジャストをしっかりとそれぞれができるようにベーシックなメカを徹底しましょうという話をして臨んだ。試合後、以下のようにご指導いただいた。</p> <p>リードのセットアップポジションからクローズダウン、スイッチと動きがスムーズであった。その結果、3人で協力して1試合判定できていた。改善すべきところとして、デュアルの部分はどう見るか、だれが持っていくべきなのか、など丁寧にする必要がある。また、もっとプライマリの審判に任せてセカンダリの笛を遅らせて吹くなど、ダブルホイッスルが必要なくなるようにしていきたい。プレーの判定では、足元をもっと整理する必要があったとご指摘をいただいた。</p>			
全体の感想			
<p>事前の審判会議でのレクチャーで、スムーズなローテーションからのポジションアジャストしてコール、の映像を拝見し、それを目標に臨みました。</p> <p>幕張総合高校のDFで、センターライン付近の仕掛けが多く、バイオレーションやファールが起きましたが、自身のプライマリで吹くべきものをヘルプしてもらったり、逆にヘルプしたりすることがあったので、自身のポジションを修正するとともに、クルー間でも協力できると良かったと感じています。</p> <p>また、ミーティングの内容であったように、自身がトレイルのとき、ペイントエリアへのドライブを現象と同時にコールしてしまうことがあり、プライマリの審判にお任せし、セカンダリでいこうにしていけるようにしたいと思います。</p> <p>試合後、センターでのプレーの見方について、ボールウォッチャーになりがちとご指摘をいただきました。映像で確認したところ、ボールにつられてポジションを変えていたり、トップのボールマンに視線をあてていたりしていたので、自身のプライマリのマッチアップがアクティブでなくても、しっかりと把握しておき、プレーが起こったときに長く目を当てられるよう改善します。</p>			